

## 各課懇談会の報告

副会長 喜多慎治

私からは、各課懇談会、第3分科会 「GIGAスクール」にかかわる意見交流の概要について、報告します。

はじめに、道小より2つの提言がなされ、その後、それぞれの提言に対し、追加の状況説明や意見が述べられました。

道小からは、1つ目 札幌市立新陵小学校の猪股校長より、「特別に支援を要する児童生徒とGIGAスクール」について、

2つ目は、鹿追町立通明小学校の小野田校長より「へき地・複式教育とGIGAスクール」について提言されました。

「特別に支援を要する児童生徒とGIGAスクール」にかかわる提言では、特別支援教育における一人一端末の活用の有効性を前提に、ICT支援員の増員や地域間の格差是正、教職員研修の充実に向けたサポート体制の整備、支援を必要とする児童生徒に対応したアプリの導入や高速ネットワークの整備について要望が出されました。

追加の現状説明や意見については、道中対策部・森田校長から、特別支援学級における情報モラルや情報リテラシーの指導にかかわる指導資料や教育課程編成資料の充実、特別支援学級担当者が受講しやすいようなICTに関する研修方法の工夫など、ソフト面にかかわる環境整備について要望が出されました。

道公教副会長 高橋教頭からは、タブレット端末の1人1台配備の早期実現と、ポータルサイトの充実、特別支援教育に係るICTサポート体制の充実について、要望が出されました。

次に「へき地・複式教育とGIGAスクール」にかかわる提言では、へき地複式教育の一層の振興という視点から、タブレット等の使用環境の改善やガイドラインにかかわる説明やモデルの例示について要望が出されました。また、ICTの普及による業務の効率化が、教員定数の削減等につながらないように、道教委に向けて特段の配慮を求める意見も出されました。

追加の現状説明や意見については、道中対策部の坂本校長より、「ICT活用と人材育成の観点から、GIGAスクールサポーターやICT支援員等の拡充、ICTを活用した授業づくりにむけた研修支援体制の整備、ICT活用ポータルサイトの充実等の要望が出されました。

これ等を受けて、道教委より、  
柴田 ICT 教育推進課長（兼高校教育課長）  
金田 ICT 教育推進担当課長（特別支援教育）（兼特別支援教育課長）より  
次のような回答がありました。

1 点目は、

ICT を活用し個に応じた指導を進める場合は、特別支援教育においても、学習指導要領にもとづき、指導内容をしっかりと確認したうえで指導を進めることが基本、大前提であると考えていただきたいとのことでした。子供個々の個に応じること、教員の裁量で対応することも、もちろん必要と考えますが、まずは、学習指導要領に立ち返って、いかに ICT を活用するかを考えることが重要である旨の指摘がありました。

その上で、

導入されている端末が学校により違う状況であることは理解しているが、まずは、デフォルトアプリを共通として指導を進め、現在の OS の基本機能を十分理解し、それを適切に指導に役立てられないかを検討してほしいとのことでした。

その上で、必要なアプリケーションの導入等を検討し、カスタマイズしていきたいとお話がありました。

2 点目は、

情報モラル教育についてです。特別な支援を必要とする児童生徒においても、情報モラル教育は、ICT 機器を活用するうえでたいへん重要であり、基本的な指導事項としてしっかりと指導を進めてほしいとのことでした。道教委としても、関係機関と、連携し、情報の提供等は、しっかりとおこなって行きたいとお話がありました。

最後に、

ICT は、使ってみることが重要であり、試行錯誤する中で、より良い活用方法を模索していただきたいとお話がありました。

ICT 端末の活用は、活用自体が目的ではなく、手段です。GIGA スクール構想の取り組みも始まったばかりですので、どのように活用すれば良いか、トライアンドエラーで、良い方法を見いだしていただきたい。そのためには、ポータルサイトの充実や学校における研修会の支援、ヘルプデスクの活用の拡大等に今後も取り組んでいきたい との回答が出され、交流を終えました。

第3分科会「GIGAスクール」にかかわる意見交流の概要は以上です。